

製作年数 5年一遂に完成した世界初の《スーパー・パペット・アニメ》!

これは凄い! ウルトラ・スーパーカー  
 “イル・テンポ・ジガンテ”号  
 グランプリをめざして レッツ ゴー!

■77年モスフワ国際映画祭金賞受賞作品  
 ■同映画祭最優秀アニメ映画賞受賞作品



主 演 ウルトラ・スーパーカー “イル・テンポ・ジガンテ”号  
 設計者 自転車修理屋のセオドルおじさん  
 助手 アヒルのサニール  
 “ はりねずみのランパート  
 スポンサー アラジン石油会長

セオドルおじさん

ピンチクリフ

SPA  
 スーパーパペットアニメ  
 日本語版

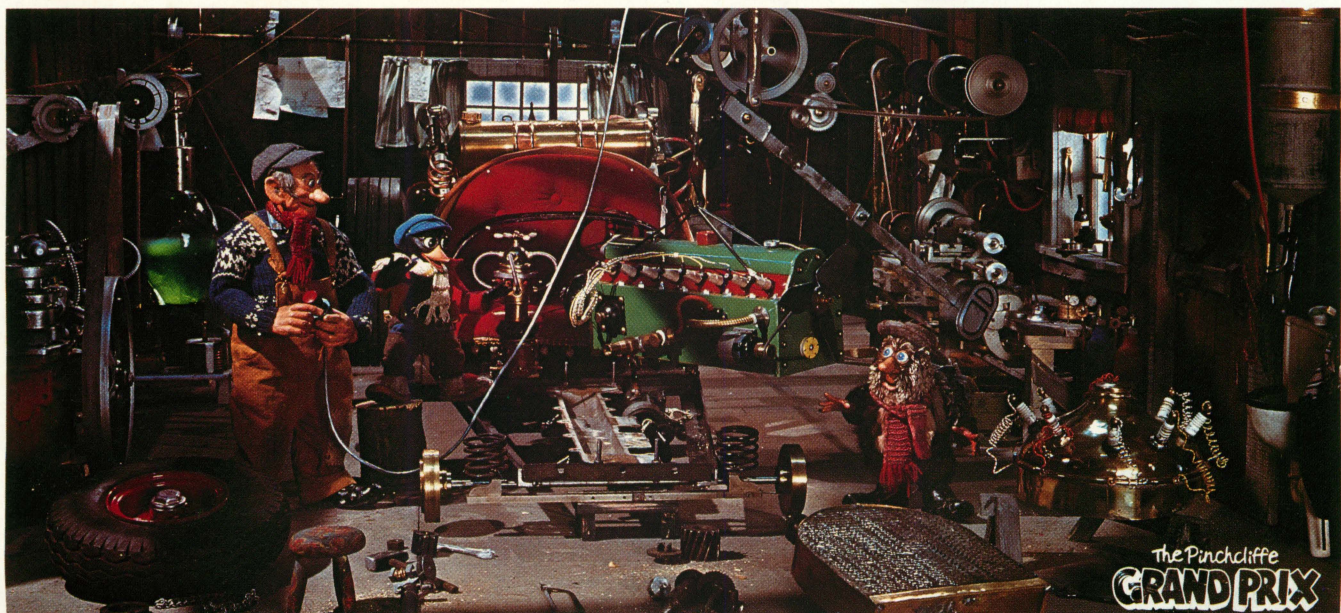
カラー作品  
 フルウェー映画

# グランプリ



ランパート

サニール



The Pinchcliffe  
**GRAND PRIX**

ウルトラ・スーパーカー  
 “イル・テンポ・ジガンテ”号 全性能

総重量 2.8トン/出力 12気筒ロケットエンジン  
 燃料 純粋アルコール/前後輪駆動  
 スチール7枚重高性能タイヤ  
 超高压着火点火プラグ  
 3インチ超精密研磨排気管  
 スピードメーター 2個  
 緊急輸血用血液  
 RHマイナス RHBプラス  
 貴族用青色血液携帯

宿敵ゴアスライミーの“ブーメラン・ラビッド”号

監督・編集・アニメーション  
 脚本

アイボ・カプリノ  
 クジエル・オーグラスト  
 レモ・カプリノ  
 クジエル・シパーセン  
 アイボ・カプリノ  
 ビヤルネ・サンテモース  
 チャールズ・バティ  
 アイボ・カプリノ  
 ベント・フアフリシアス・ビュール

セット・モデル&テクニカル効果  
 カメラ

音楽



カプリノ・フィルムセンター製作/松竹・富士映画共同配給



ピンチクリフ SPA 日本語版  
**グランプリ**  
 The Pinchcliffe  
**GRAND PRIX** (カラー作品) ノルウェー映画

カプリノ・フィルムセンター作品 松竹・富士映画共同提供

■世界各国で大ヒット!

この長篇S・P・A《スーパー・パペット・アニメ》超(人形動画)は、ヨーロッパ映画界を一大ブームに巻きこんだ、空前のウルトラ・スーパードラマです。

製作開始以来、5年もの歳月をかけて、この作品が生まれたのは、北欧の国ノルウェー。総人口約400万人のうち、5才の幼児が100才の長老まで、じつに国民の半に当る270万人がこの映画を観ています。この数字だけでも、そのブームはまさに驚異の一言で、この映画の素晴らしさがどんなものか解るでしょう。北欧での爆発的大ヒットに続いて、ヨーロッパ各地でも圧倒的なブームを巻き起し、いよいよこの日本でも公開されることになりました。

■驚異のS・P・A《スーパー・パペット・アニメ》とは

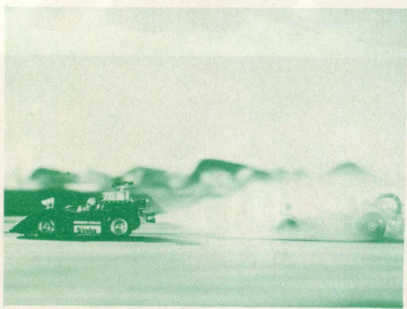
アニメーションとは、「命を吹き込む」という意味を持つていますが、まるで生き物のように操ってみせるには、細心の精巧さと精密さが要求されるのです。

数多いアニメーションの中で、この作品が特に《スーパー・パペット・アニメ》と呼ばれるのは、少しずつ人形のポーズを変えながら1コマずつ撮影されたという、想像を絶する大変な努力と忍耐によって製作されたからです。これは、人形が撮影の途中で倒れてもすれば無論のこと、位置がほんの少しズレても、最初から撮り直さなければならぬのです。まったく、お金と時間を無視した、贅沢すぎるほどの超豪華アニメ大作です。

■おはなし

ここはピンチクリフという小さな村。丘の上にあつて、その空は青く、空気はとつてもきれいです。村には蒸気機関で動くチーズ工場やキャンプ場、新聞社やテレビ局までちゃんとそろっているのです。このピンチクリフ村のはずれに、われらが主人公セオドル・リムスポークが住んでいます。セオドルおじさんは自転車の修理屋さんですが、発明家でもあります。家の中にはいろんな発明品や複雑な設計図でいっぱいなんです。

「セオドル、これ見て!」と新聞を手にかけて込んだのは早起



アヒルのサニー・ダックワースです。セオドルの右腕であり相談相手であり、どんな難問にぶつかっても機転がきき、決してへこたれない良き助手です。新聞にはルドルフというレーサーが「ブーメラン・ラビド号」という新しいスーパーカーで近く開かれるグランプリ・レースに出場するというニュースが大きく出ていました。実はルドルフは昔セオドルの助手だったのですが、ある日セオドルの発明を横どりして姿を消していたのです。「なんてひきような奴だ!」とサニーはくやしがりしましたが、「わたしやめんどうはごめんだよ」とビックビックしているのはハリネズミのランバートです。彼もセオドルの助手ですが、芝刈機にひかれ、頭のとっぺんは毛が短く耳のあたりだけふさふさしてゆかない顔をしています。セオドルはルドルフの事はあまり気にかけていないようです。実は物置きにも、作りかけのものすごいスーパーカーがあるからです。これが完成すれば、ルドルフの車に絶対勝てるのですが……セオドルの悩みはそれを作るお金がない事なのです。ところが、サニーは大活躍をして、アラジン石油のボナンザ会長を、セオドルのスポンサーにしたのです。「よし やるぞ!」いよいよセオドル達は世紀のスーパーカー「イル・テンポ・ジガンテ号」の製作にとりかかりました。

そして、ついにグランプリ・レースの日がやってきました。大レースにふさわしい高性能車が勢揃いし、世界の一流レーサーが自慢の腕をききそう中で「イル・テンポ・ジガンテ号」は果してグランプリに輝くことができるでしょうか? 5・4・3……スタートの秒読みは始まり、今から、世界で一番すてきで面白いグランプリ・レースが始まろうとしています。

7月15(星)より夏休みロードショー!

伊勢丹斜め向  
**新宿京王** (356)  
 3518